

# — 松前の魅力を考える —

**町長** 小さなまちですが、国道があつて、伊予鉄道とJRの2本の鉄道が走っている。水があつて、海があつて、山にも近い、空港にも松山にも近い。他のまちに比べると、立地がすごくいい。暮ら

**土居** 新立と本村の鉢合わせは、昔は今よりもとぎやかでした。松前は義農作兵衛だけじゃないんですよ。作兵衛さんはもちろん素晴らしいのですが、松前には他にもいろいろな行事があつたり、人材がいたりするんですよ。

**町長** 夕日も他の所に負けないくらいきれいなんですよ。

**中山** 塩屋海岸で、結婚式の前撮りをされている方をよく見掛けます。私は犬を飼っているの、まちに滞在する時間

**中山** 近くのお店にちりめんや、しらすが出ると、うきうきして買いに行きます。鮮度が良くて、とてもおいしいですよ。

**土居** 松前はすごく便利なまちだと思います。伊予鉄道もJRもある。空港も高速道路のインターチェンジも近い。

**町長** 本日は、松前町にゆかりのあるお二人とまちの魅力を洗い出し、これからのまちづくりについて一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。



**中山** 本格的でしたよね。お稽古もつけてされてたり。

**町長** 私、村芝居をやっていましたよ。メイクをして出ていました。現在は、残念ながら休止中ですが。



**土居** 山はないけど、石鎚が見える。雪をかぶつたらすこくきれいです。

**町長** 松前には、「珍珠発祥の地」と刻まれた石碑があるんですよ。



が多いのですが、松前はどこに行ってもすごく楽しいです。

**土居** 松前の珍珠は有名ですよ。しろこ(しらす)もおおすすめです。私が小さい頃は、電車に乗って、松山市大手町など各地区へ魚を売りに行っていた人がいました。おたさんの名残です。高松市生まれの私の妻は、行商人が魚をさばくのを見て、魚のさばき方を覚えたようです。そういうのって大事ですよ。

# 特集 未来へ向かって



令和7年が始まりました。  
今年、松前町は70年の節目を迎えます。  
この機会に、まちの未来のことを一緒に考えてみませんか。  
松前町にゆかりのある2人と田中町長が、  
まちの未来について語りました。



株愛媛新聞社代表取締役会長  
土居 英雄 氏  
昭和23年生まれ。松前町出身、松前町在住。昭和47年(株)愛媛新聞社入社。令和6年、同社代表取締役会長に就任。

フリーアナウンサー  
田中 浩介 町長  
昭和57年生まれ。松前町出身、松前町在住。平成20年松前町入庁、令和5年退職。同年、松前町長に就任。

フリーアナウンサー  
中山 明音 氏  
昭和60年生まれ。宮崎県出身、松前町在住。令和6年から、まさきオフィシャルサポーターを務める。

# — 松前の未来を考える —



**土居** 現在、松前の人口は約3万人。少子化の中で、いかにこの人口を維持していくかですね。

**中山** でも、新しいおうちを増えていますよね。

**町長** 増えてはいますが、松前の人口構造の問題点は、日本と全く一緒です。若い人が町外に出ていってしまうのと、亡くなる人が多いというマイナスになってしまっている。まちの存続のためには、現役世代の数をいかに維持し続けるかだと思います。

**土居** 子育て支援はすごく大事ですし、若い人も望んでいますよね。ただ、今は、昔とは違うコミュニケーションづくりが必要だと思います。幼少期の

思いづくりをして、「松前に帰ってきたい」と思えるように、子育て支援とコミュニケーションをセットで考えていかないといけないと思います。

**町長** おっしゃる通りですね。私の子ども頃は、地域の人がいろいろな行事をしてくれて、子どもたちだけでいろいろなことをしてきたなど。その思い出が、松前に帰るきっかけになったんです。幼少期に愛着が醸成されていたんだと思います。今のコミュニティは希薄化してしまっています。地域の行事をあまりやらなくなってしまう。特にコロナで拍車がかかってしまって、なくてもいいんじゃないかという。

**土居** 今の子どもたちは、習い事が忙しくて、コミュニティに出ていけないということもありませんよね。家族ぐるみでのコミュニティへの参加意識を醸成していかないといいですね。また、今後は、外国人へのサポートも必要でしょうね。

**町長** 外国人のコミュニティへのサポートも必要ですよ。企業任せではなく、行政と地

域が協力して取り組む必要があると思います。

**中山** 子育て支援といえば、松前の便利さを生かして、集団の中に入りくい子どもたちへの細やかなケアにも取り組めるのではないのでしょうか。子どもたちに関わる仕事もさせていたでているのですが、どうしても取り残されている子どもがいると感じています。

**町長** 不登校の子どもたちをそのまま放置するのは良くないと思っています。「無理をして学校に来なくていいよ」と声を掛けても、大人になったときにどうするのかという課題に直面しますよね。不登校の子どもが、地域の人とつながりを持つ場所があればいいですね。

**中山** 公民館機能を備えたような、子どもたちの居場所があるといいですね。

**土居** 最近では、伊予高校生も頑張っていますよね。それをもっとPRしたらどうかと思います。ホッケー部には、ユース日本代表に選ばれている生徒もいると聞いています。現在、クラ

ウドファンディング(12ページ)をされているようですが、既存の施設で足りない部分を補強して、日本中から選手を呼べるようになればいいですね。

**中山** 伊予高校生は、イベントにも力を貸してくれていますよね。

**町長** ホッケー部、吹奏楽部、最近では書道部も頑張ってくれています。町内唯一の高校です。だから、昔に比べると地元生徒が減ってしまっていて。町民の皆さんに伊予高校の活動を知ってもらって、「入学したいな」と思ってくれる子どもたちを増やしたいですね。地域資源を生かしながら、子どもの思い出を醸成しつつ、まだまだいろいろな切り口でやれそうですね。



**土居** 松前といえばはんぎり。伝統のはんぎり競漕を全国に発信する方法を検討してはどうでしょうか。同じような競技をしている地域を探して交流したり、はんぎりを体験できるイベントを開催したり。

**町長** 種目を変えてもいいのかもしれませんね。

**中山** 松前は、自慢できるものがたくさんあるので、もっと情報発信をしていくべきですよ。はんぎり競漕は、毎年、塩屋海岸で開催されていますが、海岸の整備は考えられていないのですか。

**町長** 整備したいですね。海は、松前の埋もれた資源だと思います。塩屋海岸は工業団地があって開発するスペースがないので、北黒田海岸を開発できたらいいと思いますね。

**土居** 松前は農業も盛んですが、移住のきっかけとして、農業をPRしてはどうでしょうか。松前の魅力の発信にもなりますよ。

**中山** 松前の作物はおいしい

ですよ。農業にチャレンジしたくて移住したい人もいます。いきなりへき地に行くより、松前への移住はハードルが低いと思います。家族の環境の変化にも対応しやすいですよ。

**町長** うちも農家でですけど、今のままの農業形態では高い利益を得ることは難しいんです。今は、それぞれの農家で機械を買って、農業をしています。それを小さな農地でやったら赤字なんです。農家さんたちがやってみようと思ってくれたら、大規模農地化することも考えたらいいのではないかなと思っています。みんなで財産(機械)を共有できれば、1人当たりの負担が減りますからね。

**土居** 松前は災害が少ないと

言われていますが、南海トラフ地震や、豪雨災害などへの災害に強いまちづくりにも取り組まないといけないですよ。

**中山** 雨水貯留施設の工事に着手されたということを聞いて、少し安心しています。この前の雨の時は、ご近所の方に助けていただきました。その時に、地域のつながりが大切だということを感じました。

です。稼いだお金を投資するサイクルを作っていきたいと思っています。行政だけでは面白いアイデアが出ないので、必ず民間と協力して取り組んでいくことが重要だと考えています。これからは、社会の変化に合わせて柔軟に変化していくようなまちにしていきたいと思っています。みなさんと一緒にそんなまちをつつていくことが、私の目標です。これからもご協力をお願いします。



**町長** 防災、減災はしっかり進めつつ、新しいチャレンジもしていきます。そうしないと松前は衰退しかありません。高齢者福祉もそうですが、より便利で、安心して暮らせるまちづくりを進める。かといって、若い世代への投資や新しいチャレンジをないがしろにしては、まちの発展はありません。両方をやらないといけないのです。そのためにはお金が必要で、納税に力を入れることにしました。今は、自治体も稼ぐ時代

松前町は今年、町制70周年を迎えます。  
70年の歴史を糧に、今こそ新しい未来を切り開くときです。  
このまちをつくっているのは、皆さんの夢や思い。  
一人一人が新たな目標を持ち、夢に向かって踏み出しましょう。  
小さな一歩が、いつかきっと大きな一歩になるはずですよ。